

さようなら原発 越谷連絡会

会報 No.37

●発行 さようなら原発越谷連絡会 編集委員会

●連絡先 〒343-0023 越谷市東越谷 1-5-17 TEL&FAX 048-962-8052 <http://sayonarakoshi.jimdo.com/>

- さようなら原発越谷連絡会は、再稼働反対国会前抗議行動（毎金曜日）と、第3金曜日には、越谷独自の集会とパレードを行っています。
- 第3を除く金曜日は新越谷駅上りホーム後方（越谷駅寄り）に、17時集合・出発しています。
- 独自に国会前に向かわれた場合は、国会正門から見て左側歩道の国会に近い場所を定位置にしています。
- 第3金曜日の、越谷独自行動（3金脱原発越谷行動）は、越谷中央市民会館東側の芝生広場に18時集合・開始で、どなたでも発言自由のアピールタイム。歌や楽器でのアピールもOKです。このち、越谷駅までパレードをしています。誰でも、どなたでも参加していただける集会・パレードです。ぜひ、ご参加ください。
- お問い合わせは080-1229-3661(飛山) / 080-5670-7117(増田) / 090-4010-1334(石山) まで



● 12月19日の参加者は42名、1月16日、2015年最初の3金行動は44名。いつものように、W青年の元気のよいコールで集会開始。パレードと並行して、沿道で「お手紙」（3金行動や南越スタンディング、越谷駅前署名活動を紹介した手づくりパンフ）を配布したMさん、今回は受け取りの反応がよかったとのことでした。

● 越谷駅前広場で、締め「再稼働反対」のコールののち、解散。

● 市民活動支援センターで反省会。県民投票の推移、越谷駅前署名活動、3月にひかえた「3・1さようなら原発 in 越谷大集会」への取り組みなどが話し合われました。



昨年の大集会。絶対原子力戦隊イシシンジャーのアトラクション。大うけだった

3・1「さようなら原発」越谷大集会とパレードに向けて

「原発再稼働 許さない」

2012年3月に越谷集会を開いてから4回目となります。原発をなくし自然エネルギーへの声は世論の多数ですが、なかなか形に表われません。原発反対と思っている人でも衆院選で自民党に投票してしまった人もいるでしょう。

だからこうして形に表わしていくことが必要なのです。それも東京だけでなく全国各地での集会・パレードをつづけていくことが大切なのです。

今年には川内原発再稼働という緊急の事態を前にしています。福島原発では汚染水や放射能が漏れ続け、メルトダウンした原子炉はどうなっているのか見当もつかない。こんな状況の中で避難解除をすすめ、再稼働しようというのです。絶対に許すわけにはいけません。だからみなさん、一人でも多くの人に声をかけ、「3・1集会」に参加してもらいましょう。

「幅広い共同行動」

原発の行動は当初こそ色々な団体ごとの集会でしたが、現在は大きな共同になっていきます。一千万人アクション、全国連絡会、首都圏反原発連合が共同しての運動になっています。

それは全国でもみられ、埼玉でも県レベルでの共同が実現しています。越谷でも最初から幅広い共同で、この集会がもたれていきます。

わたしたちは沖繩での『建白書』を中心にした統一の力を知っています。県知事選・衆院選4小選挙区での勝利は、私たちに大きな希望と勇気をあたえてくれました。私たちは平和憲法を守りいかそう、原発をなく



200人のパレードが平和橋を渡る。雨の中だったが、元気に貫徹（上）。パレードのゴール「生活館」では、温かくおいしい豚汁が待っていた (2014.3.1)

し自然エネルギーに転換しよう、のもとに大きな共同行動が組めるはずですが、この方向こそが、日本の未来を平和で心豊かなものにしていくはずですが。

「粘り強く声をあげつづけて」

越谷集会をもとに「越谷3金デモ」が始められ2年になろうとしています。越谷33万人市民から見ると少ない人数の集まりですが、粘り強く声をあげつづけていくことが何より大切です。色々な事情で参加できない人にも越谷でもこうした「さようなら原発」運動が継続していることを知ってもらおうことが大切です。

「広く声をかけ参加を呼びかけよう」

人数だけが重要じゃないけれど、でもやっぱり多い方がいい。去年も200人程の参加者数。再稼働をひかえている今年は倍加したいですね。集会だけでも、パレードだけでもきてもらえるといいですね。

主催者側は、集まりやすい、楽しい、元気な集会にしていく必要があります。みんなぞ知恵を出しあいましょう。きてみてよかった、といってもらえれば次はもっと広がります。

毎年この日だけ寒いんです。今年はいいい天気になってください。(山田智之)

福島浜通り（いわき・楡葉・富岡駅）を見て

昨年十一月二十二日、いわき市の復興事業のひとつ、いわき久之浜、楡葉町、常磐線富岡駅をめぐるスタディ・ツアーに参加した。

いわき久之浜の漁港は、かもめも飛ばず、魚の匂いもなく、早くも錆が出始めた漁船がもやいしていた。この船も、かつては飾り立て海上パレードをしただろうに。四年近く試験操業しかできない漁師たちは、廃炉作業や除染に従事していると聞いた。

いまも、汚染水、汚染地下水は流出している。福島の漁業を壊し、海の男とその家族、七千人を路頭に迷わせてしまった原発事故。復興進む三陸海岸の映像がテレビに流れるたび、この眼で見たいわきの港を思い出してしまう。



富岡駅構内は雑草に覆われ、架線を支える鉄製の柱は壊れたまま。そして横転したまま放置されている錆ついた車。まるで「見えるはずのない」放射能が「見える」ようだった

ままなのは明らかに原発事故のせい。浜通りの港、町、駅を歩き、原発事故が奪ったものの大きさを目にして「原発は要らない」という思いをさらに強くした。

(山崎啓子)

●12・7 福島バスツアーの報告
あれから二年半・被災地は今……

草加の脱原発グループ「キビタキとわらしの会」は、昨年12月7日に福島へのバスツアーを42名で行いました。自分の目で現地をしっかりと見て来たいという人たちが、遠く川越や上尾などからも朝7時草加駅に集合。

バスの中ではたがいの自己紹介や、原発県民投票のDVD、宝鏡寺の早川住職のDVDを見て充実していました。

いわき市では「かねまん商店」のかまぼこを支援の意味も含めて買いました。ここは被災後従業員を一人も解雇しなかった店です。昼食をとった「福仙」というレストランの、刺身や魚の煮つけなどおいしかったです。なんと福島沖の魚は扱えず、全部よそからこまごま仕入れて料理しているとのこと、涙ぐましいです。

広野町や楡葉町の放射能除染ゴミ置き場で驚いたのは、一つ一つ積まれた黒い袋が一面のビニールシートで覆われていたことです。3年で耐用期限切れなのに新しい袋に詰め替えずその場しのぎです。

楡葉町では宝鏡寺で早川篤夫住職のお話を聴く予定だったのが、裁判の急用が入り残念でした。住職は40年前から反原



宝鏡寺にて（楡葉町）

発運動を続けてきたのに、600年続いた寺も被災し避難中。泥棒が横行するのて本尊は解体して仮設住宅の押入れに入れてあるそうです。皆で本堂内を見学、反骨精神旺盛な寺です。

次に草ぼうぼうの富岡駅に行き、家具も滅茶苦茶、壊れた家々を目の当たりにして胸がつぶれる思いでした。津波だけでない、放射能の恐怖から「死の街」そのもの。人っ子一人いない不気味さ。桜の名所の「夜の森公園」モニターングポストは4・719マイクログロシーベルト。学校と給食センターの建物を目にして、ここで生き生きと生活していた人々はどこに消えてしまったのか、無念としか言いようがありません。この気持ちをどこにぶつけたらいいのか？

他にJビレッジや久ノ浜などを通りながら、帰路につきました。この目で現地を確かめることができ、意義深い1日でした。福島は高知と並び自由民権運動が盛んだった土地、自分も粘り強く闘わねばと思ったことでした。(倉橋綾子)

川内・高浜・大間の動きをめぐって

総選挙での、自民の勝利によって、原発再稼働の動きが加速化される可能性がある。

現に、川内原発の事実上の審査合格を経て、現在審査中の原発は12原発19基もあり、この3年間「稼働ゼロ」であったものが、今年は、再稼働始まりの年になる事は確実となりそうだ。

だが、再稼働には様々な問題があり、それらが十分に審査されていたとはいえず、見切り発車的な合格内容でもあること、多くの疑問が投げかけられていることも事実だ。

そんな中で、大間と高浜原発を巡る動きに注目したい。それは、これまでの避難計画策定を義務付けられた30キロ圏内にある、函館市、福井、京都、滋賀も立地自治体並みの安全対策を求めていることだ。

中でも、函館市は、「大間原発差止め訴訟」を起こしたことだ。

その論拠というのは、大間原発から最短で23キロしか離れておらず、避難計画策定を義務付けられた30キロ圏内であることだ。

函館市長は、「私たちが全く無視している」とし、過酷事故が起きれば、重大な影響を免れないとして、国とJパワーを相手取り、建設差止めなどを求めた訴訟を、東京地裁に起こした。この意味は、極めて重要な問題を提示している。

それは、現在進められている「再稼働審査」の基準に対する異議申し立てであり、近隣市町村との経済的、生活的な関係の変化をもたらすからである。

大間と函館は、一つの生活、経済圏を形成している。「函館市大間町」と呼ばれるほどだ。

函館に行くには、フェリーで1時間30分だが、青森に行くには、車で3時間もかかる。

大間には、マグロ以外に観光資源がない。原発頼みの町財政が岐路に立たされている。

さて、大間原発とは、如何なるものであるのかを知っておく必要がある。

大間原発の着工は、2008年。完成すれば、使用済み核燃料から取り出したプルトニウムとウランを混ぜたMOX燃料だけを炉心で使う、世界初のフルMOX商業炉となる。

そして、年間1・1トンのプルトニウムを消費できる。六ヶ所村の再処理工場を取り出されるプルトニウムの4分1強になる。といわれている。

だが、政府は、再処理で取り出したプルトニウムを原発で燃やす核燃料サイクルの推進を掲げてきた。そのため、高速増殖炉開発は停滞している。プルトニウムを貯め込むと、国際社会から核開発の疑念を持たれかねない。

大間原発は、プルトニウムの消費役として期待されているのだが、同時に函館市の裁判の行方も考えなければならぬことになる。

(高橋正久)

集会での発言から

●阪神淡路大震災から20年ということを新聞やテレビなどでいろいろ取り上げています。あの20年前の大震災がきっかけで、今は災害が起ると、すぐ危機管理センター、緊急なんとかというのが政府に出来来ます。あの制度ができたきっかけが20年前の明日のことなんだそうです。そのころなかったものが、あれを機会にできた。「ボランティア元年」という言われ方もします。こちらからもたくさんボランティアが行った。それも、あの時が最初だそうなんです。ですから、あの20年前の震災で、私たち市民も政府も学んだことはいっぱいあったんですね。と思うと、じゃあ福島事故の後、この国は何を学んだんでしょうか。川内原発再稼働するんですか？ 違うでしょうって思う、何学んだらう……ってね。宮城とか岩手とか、高台移転なんとかっていうけど、もう4回めの冬だっというのに、まだ仮設があったり……どこに家を建てたかも何もまだ決まらないところがあつたり、コミュニティもバラバラでいったい何を学んだんでしようか。何かとてもむなししい気がしたんです。阪神のあの時は、危機管理なんか出来ていなかった。でも、それを一生懸命そこで学んだ、それでいくつものことを市民も政府も始めたんですよ。それが、この震災と原発に関しては何も出来ていない気がするんです。だから、そのためにも、もともとって原発のこと、忘れないで……

この間、Tさんと県民投票の呼びかけをしました。ほとんどの人が無関心に通り過ぎて行きます、他人事みたい。「原発だつてさ」「埼玉にある？」みたいなことを言っていく。でもそうじゃない。だから広めたいんです。ランチしながらでもいいし、ゴミ捨てで顔を合わせた奥さんに「ねえねえ」ってちよつと話でもして、みんな忘れないように。そんなことを、この間、県民投票のことをしながら、通り過ぎる人たちを見ながら感じました。また、阪神淡路大震災20年目だということ、20年前のことではいくつか学んだのに、私たちは何も学んでいないなど。しみじみ、わたしたちには何ができるのか、もう一度考えてみたいと思いました。

(越谷市・Oさん)

●毎週土曜日2時から3時で、川口駅東口でスタンディングをやっています。時々川内原発付近から来たという人が二人ばかりいらつしやいます。その方たちの話を聞くと、川内原発現地ではとてもそんな話は出来ないと言っている。ただものすごく「こわい」っていうんです。自分の住んでいる近くに川内原発があるってことがものすごくこわいって。今再稼働するっていう話があるけれど、とても何も言えないけど、住んでるだけでこわいって言っていました。実感として、どうなんだろうな、原発がそばにあるってと考えると、この間ふと思ったことは、たとえば押し入れの中に「ちよつと爆発しないからダイナマイトを入れて」と、「2、3年でもいいから」とかって言われても……って。もしそう言われて、押し入れにダイナマイトがあつたらどうだろう……って考えたときに、やっとならう……と実感わいて来て、ほんとにその人が言っていた「こわい」っていう意味がすごくよくわかりました。

川口駅のスタンディングにも、いらしてください。

(越谷市・Yさん)

「駅前署名」越谷駅

が始まりました。原発平和・憲法・環境・越谷市のこと……いろいろな署名があります。毎週火曜日の12時半から2時半、越谷駅東口です。同時に「駅前スピーチ」も。「戦争体験」や「福島原発事故」などについてお話しして下さる方募集しています。思っているだけでは平和や環境は守れない！

南越スタンディング (毎週水曜日 13:00 ~ 14:30 毎週土曜日 17:00 ~ 18:30)

●場所：南越谷駅と新越谷駅の乗り換え通路 ●参加：抗議したいこと・アピールしたいことなどをプラカードに書いてお持ちください。(団体とか政党とか宗教とかじゃなくて、個人で参加してね。) ※手ぶらでも OK <http://nankoshi.jimdo.com/>

駅前署名 in 越谷駅 思っているだけでは平和や環境は守れない!

●日時：毎週火曜日 12時半から2時半 ●場所：越谷駅東口 ●原発・平和・憲法・環境・越谷市のこと……いろいろな署名があります。同時に「駅前スピーチ」も。「戦争体験」や「福島原発事故」などについてお話しして下さる方募集しています。
●<http://sayonarakoshi.jimdo.com/>

0308 NO NUKES DAY 反原発★統一行動～福島を忘れるな! 再稼働を許すな!～

●日時：2015年3月8日(日) ●場所：日比谷野音(大音楽堂)・国会議事堂周辺 ●第一部 13:00 ~ 大集会 14:00 ~ 巨大請願デモ/国会大包围 ●第二部 15:30 ~ 17:00 国会前大集会
●呼びかけ：首都圏反原発連合/さようなら原発 1000万人アクション/原発をなくす全国連絡会

フクシマを忘れない! さようなら原発大講演会

●日時：2015年3月28日(土) 18:30開場 19:00開演
●場所：新宿区立新宿文化センター ●主催：さようなら原発 1000万人アクション



南越谷駅前での呼びかけ

愛い装飾も考えてくれる若いママさんたち
年末には石山さんもサンタのエプロンをつけて子どもと一緒に署名集めをしてくれて楽しかったです。署名の横でクリスマスソングをギターで演奏してくれたり可

意外と皆さんがすぐに署名をして下さるので驚きました。やはり心の中では皆さん原発への想いがあるのですね。
つ訪問して集めてくださいました。

私もスパーの前で集めさせていただき
おかげさまで越谷では2070筆も集まりました。残念ながら目標の6000筆には半分も届きませんでした。私の呼び掛け不足もあり申し訳ありません。でも決して皆さんの努力は無駄ではありません。寒い中、毎週3日間も街頭に立ち続け、署名を集めてくださった宮前さんや皆さんの努力のおかげです。飛山さんも近所を1軒ずつ訪問して集めてくださいました。

みなさま原発県民投票の署名集めに尽力いただき本当にありがとうございます!(県全体としても約6万筆ご協力いただきました)が目標12万筆には届きませんでした。各市町村へ提出したとのことでした。

報告 埼玉原発県民投票を実現するための署名活動

協力も心強かったです。一緒に集めることも忘れて頑張りました。

普段、デモ・パレードで顔を合わせるぐらいだったけれど、越谷の中で同じ思いを持つ仲間が協力して一緒に署名を集められたことが何より良かったです。

署名をしてくれた人に丁寧にお礼を言っていた仲間、同世代のママさんに積極的に笑顔で呼びかける仲間の姿も印象に残りました。署名を集めながらも仲間とも楽しく交流が出来て時間がすぐに過ぎていきました。そして動いて行く中で埼玉県全体の連帯する力も強くなったと思います。

数だけで評価するのではなく、署名を集めるプロセスの中で、署名をしてくれた人がまた原発に、自分たちの政治に関心を寄せることが出来ました。きっとこれからの投票率にも良い影響になると思います!

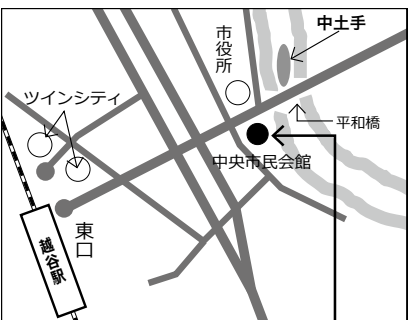
とはいえ4年前の震災の時と比べると市民の関心が薄れていっている現実も感じました。だからこそデモパレードや署名活動など継続していくことの大切さを感じます。

そして! 宮前さんが脱原発街頭署名を継続して続けてくださいます。ぜひ一緒に盛り上げていきましょう! 普段皆さんが感じたこと、昔体験したことを伝えるのは今です!

越谷駅で戦争を知らない若者たちに平和の作り方を伝えていきませんか?
福島原発を忘れかけている方々にも知ってもらおうの今です! (武井由貴)

日時: 毎週火曜日 12:30 ~ 14:30
場所: 東武スカイツリーライン「越谷駅」東口(ポストのそば)
*当日 直接おいでください。お待ちしております。

集会の場所は3月まで中央市民会館東側芝生広場です。



越谷中央市民会館東側芝生広場。午後6時。待ってます!

● 2014年原発越谷連絡会決算書

(収入) 2014年12月31日現在

項目	予算額	決算額	備考
1、会費	25,000	28,000	2000円×14人
2、事業費	10,000	0	講演会資料代、本売上げ
3、カンパ	94,293	117,030	集金カンパなど
4、雑収入	6	2	預金利息
5、繰越金	21,080	758	
合計	150,379	145,790	

(支出)

項目	予算額	決算額	備考
1、講師謝礼	8,000	0	
2、活動費	30,000	22,500	デモ申請代9回
3、消耗品	11,979	9,530	* 1
4、備品費	20,000	4,395	ボール代
5、印刷費	2,000	130	市民活動費分
6、通信費	59,000	55,900	6回郵送分
7、会議費	7,400	13,500	
8、借家代	12,000	12,000	1,000円×12月
合計	150,379	117,955	

残金 45,790 - 117,955 円 = 27,835 円
27,835 円は 2015 年に繰り越します。

● 2015年原発越谷連絡会予算書(案)

(収入) 2015年1月1日

項目	15年予算額	14年予算額	14年決算額	備考
1、会費	40,000	25,000	28,000	2000円×20人
2、事業費	5,000	10,000	0	資料など売上げ
3、カンパ	107,160	94,293	117,030	集金などカンパ金
4、雑収入	5	6	2	預金利息
5、繰越金	27,835	21,080	758	
合計	180,000	150,379	145,790	

(支出)

項目	15年予算額	14年予算額	14年決算額	備考
1、講師謝礼	8,000	8,000	0	
2、活動費	30,000	30,000	22,500	デモ申請代9回
3、消耗品	15,000	11,979	9,530	* 2
4、備品費	20,000	20,000	4,395	
5、印刷費	2,000	2,000	130	
6、通信費	70,000	59,000	55,900	6回郵送分
7、会議費	10,800	7,400	13,500	900円×12回
8、借家代	12,000	12,000	12,000	* 3
合計	180,000	150,379	117,955	

(* 1) 封筒代、宛名ラベル、A4 色上質、カラーコピー (* 2) 封筒代、宛名ラベル、ガムテープ、A4 色上質、文具 (* 3) 600 円 × 12 月 (家賃) 400 円 × 12 月 (ロッカー代)

●12月19日の集会で、カンパ金2万4963円が集まりました。有難うございました。郵送代等に使用させていただきます。